

投資環境レポート

南アフリカ、政策金利を引き下げ、6.5%に

南アフリカ準備銀行(中央銀行)は現地時間3月25日、政策金利であるレポ金利(銀行が中央銀行から2週間の借入を行う際の年率レポ金利)を0.5%引き下げ、6.5%とすることを発表しました。2009年8月に7.0%へと引き下げて以来金利を据え置いてきた同国にとって、約7ヶ月ぶりの金利引き下げになります。

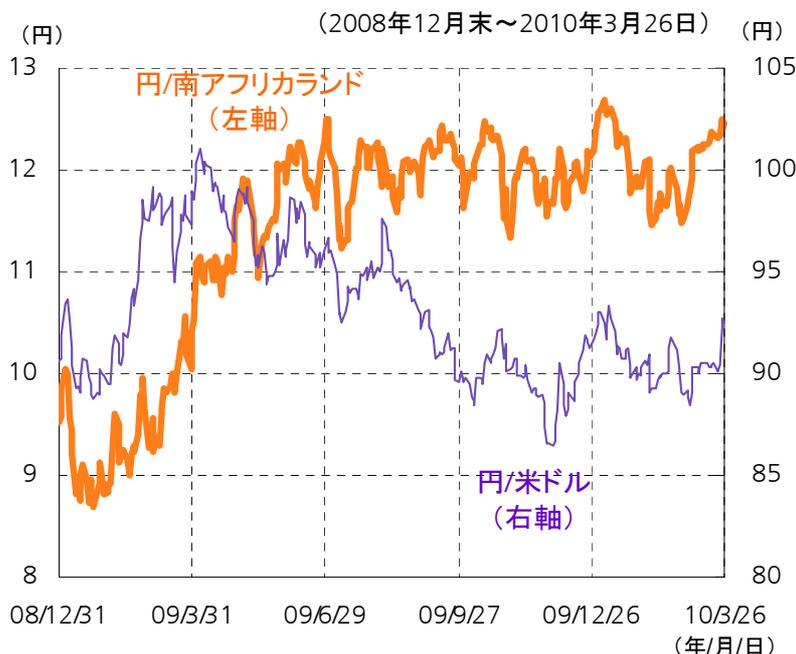
2008年秋の金融危機以降の世界は、中国を始めとした新興国、資源国が景気回復を牽引する流れとなってきましたが、南アフリカの景気回復は、初期段階ではやや遅れ気味と見られていました。しかしながら最近では、2009年第4四半期のGDP成長率が前期比年率3.2%増となって予想を上回り、製造業を中心とした景気回復に勢いが見られてきたことから、市場では今回政策金利は据え置かれるとの見方が優勢でした。

同国中央銀行のマーカス総裁は今回の利下げの背景として、2010年2月のインフレ率(前年同月比)が5.7%に低下し目標インフレ率である3~6%以内へと入ってきたことで、インフレ見通しが改善したことから、インフレのリスクを顕在化させずに追加的な景気刺激を行えると判断した、と発表しています。為替市場では金価格の上昇等を受けてランドが堅調に推移していますが、これについても、インフレ見通しからは好材料だが、ランド高が過度に進行すれば国内景気にとって懸念材料となる、としています。

今後については、同国では引き続き個人消費の回復、雇用の安定等が課題ですが、輸出や公共セクターへの投資は堅調であり、電力価格の引き上げがインフレ圧力として残る中、更に利下げが行われる可能性は低いと考えられます。サッカーワールドカップ開催はいよいよ6月に迫っており、南アフリカへの注目度の高まりも期待されます。

【ご参考】

■対円の為替動向



■主な国の政策金利の推移



出所:ブルームバーグのデータを基にUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社にて作成

ご注意事項

- 本資料はUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。本資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料の中で記載されている内容、数値、図表等は本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆、保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。なお投資信託のリスクの要因については、投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。詳しくは目論見書をご覧ください(取得のお申込にあたっては、販売会社より目論見書をお渡ししますので、必ず内容のご確認の上、ご自身でご判断でなさるようお願いいたします)。
- 投資信託の費用について:投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。
[直接ご負担いただく費用]
 - ◎申込時/申込手数料:上限3.675%(税抜3.50%)
 - ◎換金時/信託財産留保額:上限0.3%[保有期間中に間接的にご負担いただく費用]
 - ◎信託報酬:上限2.45%(ファンドオブファンズの投資先の報酬を含む)
 - ◎その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用等)をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書や契約締結前交付書面等にてご確認ください。

商号等: ユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会

© UBS 2010. UBSは全ての権利を留保します。